



春を寿ぐひなめぐり2026

柳井市白壁の町並みを守る会副会長

泉 裕子

今年も二月から三月末にかけて、恒例の「お雛様巡り」が開催され、白壁の町並みは早春の光とお雛様の華やかな彩りに包まれました。



今年の目玉となったのは、受付の山近さんによる「お雛様の並び方講座」です。昭和天皇のご即位を境に、日本古来の「向かって右が男雛」から現在の並びへと移

第百六号
柳井市白壁の町並みを
守る会
事務局(皿田治)
TEL 090-1012-4204

り変わった歴史を紐解くお話は、「歴史の授業より面白い！」と大好評。足を止め、熱心に聞き入る方々で、とても賑わいました。

また、お帰りの際には、受付担当一同で折ったお雛様の折り紙をお渡ししました。「家に帰って飾ります」とのお言葉もいただき、小さな贈り物に込めた思いが届いたことを嬉しく感じました。

一方、その舞台裏では今年も「アラ古希・アラ還」世代の会員たちが奮闘。かつては難なくこなしていたはずの準備や片付けは、重い雛壇、たくさん飾りを前に、毎年、



頭と体に相談しながらの作業(格闘?)となります。そこに少し年下の世代の会員や商工会議所の若手が加



ときとなり、それも思い出の一つです。

三月十五日には、お雛様巡りの一環としてスタンプラリーを開催。町並み周辺十九か所の店舗や施設の皆様にご協力いただき、無事に実施することができました。ご参加くださった皆様、そしてご協力いただいた関係各所の皆様に、心より感謝申し上げます。

来年もまた、さらに進んだ記憶力の衰え、膝や腰、肩の痛み等を忘れるほどの笑顔に出会えるよう、一同励んでまいります。

わり、「昔の知恵、ちよつぷり薄れた記憶力」と「今の体力、はつきりとした記憶力」が絶妙に混ざり合う、穏やかで活気あるひと

柳井の地図絵図

岸田稔明

第四十九回 一万分一柳井町都市計画図 (昭和二十七年調査) その四 (柳井市蔵)

第四十六回から、柳井市都市計画課に保存されている「柳井町都市計画図」を取り上げているが、今回は柳井駅東側の鉄道に焦点を当てる。

第三十七回において紹介した国土地理院蔵の昭和二(一九二七)年測図「陸地測量部二万五千分一地形図」(右下に一部を掲載)と、今回取り上げた柳井町都市計画図を比べると、鉄道のカーブが少し緩やかになっていることが分かる。

柳井駅から柳井港駅までの間は、柳井線が山陽本線となる直前の昭和十九(一九四四)年九月二十九日に複線化された。柳井駅から大水道の踏切(セブンイレブン柳井天神店そばの中開作第四踏切)までの間は、

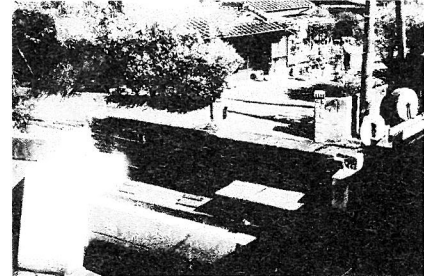


複線化時に線形が変更された。

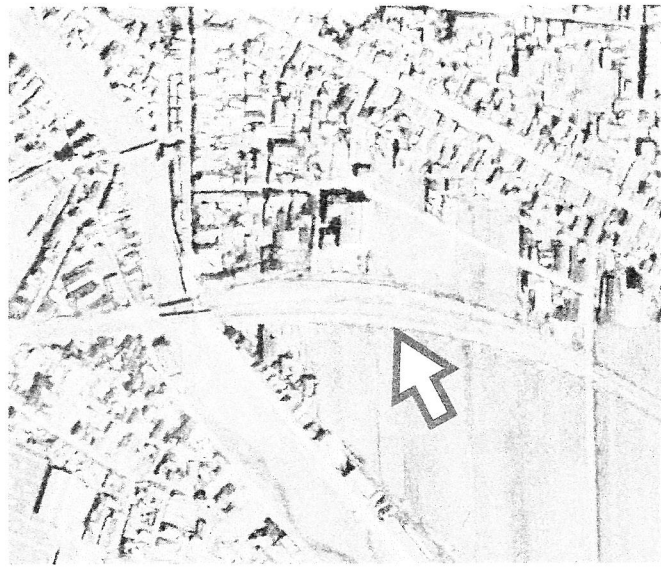
わずかに南へずらした線形変更のため、地図では分かりにくい。昭

和二十二(一九四七)年米軍撮影の航空写真を見ると、柳井川に橋が二つ架かっており、上流側が単線の古い橋梁、下流側が複線化された新しい橋梁が写っている。また、柳井川から大水道の踏切までの間には、線路敷の跡が写っている。

柳井川の鉄道橋の北側には、

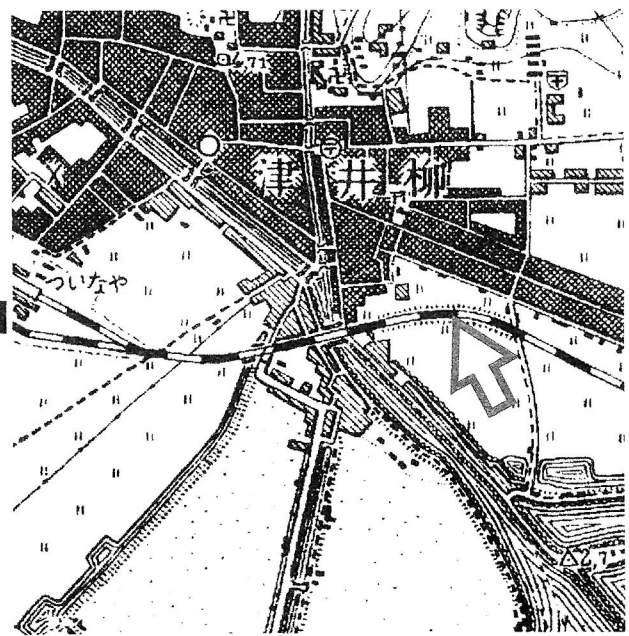
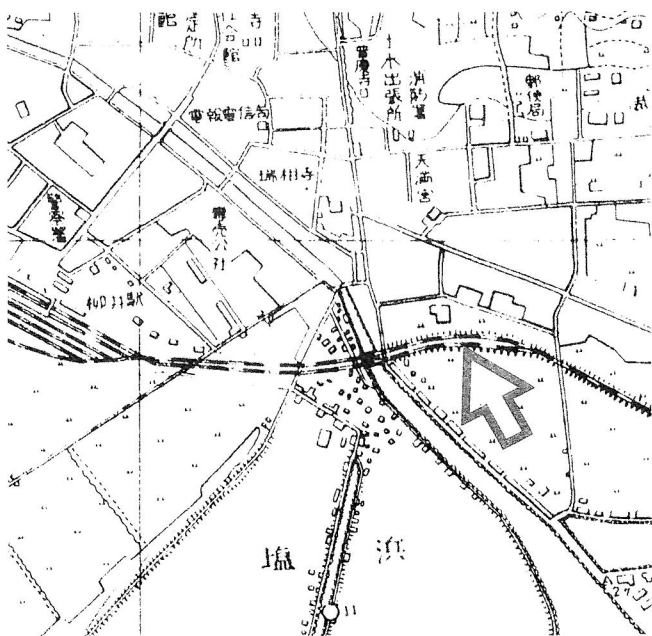


柳井川に架かる鉄道橋の北側に残る明治30(1897)年架橋されたレンガ造旧橋梁の橋脚



昭和22(1947)年米軍撮影航空写真(国土地理院蔵) ※矢印先端部分が線形変更された線路

【左下・柳井市都市計画図(昭和二十七年(一九五二)年現地調査、柳井市蔵)、右下・陸地測量部二万五千分一地形図「柳井」(昭和二(一九二七)年測図、国土地理院蔵)】



古い橋梁の架かっていた橋脚が残っている。

商都柳井の歴史世

松島 幸夫

引き札2

しらかべ学遊館に掲示してある「引き札」を紹介しています。前回は回船問屋を見ました。今回は、呉服店の引き札を見てみましょう。

①尾林宗兵衛店

左上に載せた引き札は、八百宗を屋号とする尾林宗兵衛店が配布した引き札です。

「丸に八」を店の紋にしています。本舗(本家)と表示していますから、「のれん分け」によって同じ屋号の店(分家)があったと察せられます。関東呉服と書かれています。が、最先端の流行製品を取り扱っているという意味でしょうか。洋服も和服も取り揃え、



各種糸類もありますと宣伝しています。またそれらの商品を安価で

販売するとも書かれています。文字主体の一見地味な引き札に見えますが、よく見ると周囲に日本各地において特産物を生産している様子を描いています。例えば長州ではちぢみ生産(左絵)を、また灘では酒づくり(右絵)を配置しています。その下の引き札も尾林宗兵衛店のものです。ウサギが店の旗をくわえて海上を飛び跳ねています。今年の干支はウサギでしょう。「正札附」と書いているのは、相手をみて高値を吹っ掛けるのではなく、正当な値段札を付けていますと主張しているのです。

②弘重武三郎店

呉服など種々揃えています。大黒様や恵比寿様が金儲けに成功した様子が描かれています。店に財力があることが、呉服商売の信用につながるのでしょうか。この引き札は、商業高等学校の教科書の口絵に載ったものです。

③梅田新蔵本店と梅田支店

和服や洋服はもちろん、洋傘や足袋など各種取り揃えた卸店です。柳井津本町に本店を構え、その西側近所に支店を構えているのですから盛況ぶりが窺がえます。支店では小間物や荒物や文房具を扱っていました。



資料館便り

「楽しかった!歌う会」

山近絹代

早春の風にようやく春の訪れを感じる三月十五日、「松島詩子の名曲を歌う会」を無事に開催することができました。

松島詩子さんの歌声の素晴らしさ、そしてこの記念館のことを一人でも多くの方に知っていただきたい...そんな願いで始めたこの会が、今こうして歌手の谷本耕治さんをはじめとする多くの方の「ご縁」と「善意」によって続いていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

当日は例年通り三部構成でお届けしました。

一部「谷本耕治による松島詩子の名曲コーナー」歌 谷本耕治さん、ピアノ 宮本陽子さん、シンセサイザー 角田ゆうさんで、「マロニエの木蔭」からスタートしました。

二部「一緒に歌おうコーナー」では会場の皆様の歌声が重なり、笑顔が溢れる

ひと時となりました。

三部「谷本耕治オンステージ」は谷本さんのいつものように楽しいおしゃべりと圧巻の歌声をご披露下さり、最後は全員で「青い山脈」を合唱し、最高潮の盛り上がりの中で幕を閉じ、松島さんのご子息、内海様からのお花を記念にお持ち帰りいただき、お開きとなりました。

終了後、多くの方から「楽しかった」と直接お声を掛けていただいただけでなく、友人や知人から「良かったよ」と「LINEが届き、やって良かったと安堵しました。」

また昨年は福岡から谷本さんのファンの方が来られ、今年は愛知県から来られました。

かつて黒柳徹子さんが、NHKの番組で松島さんの事を話されたのを見た方が来館されましたが、今年は四月二十四日にBS東テレで松島さんの曲が放送予定です。放送をきっかけに、また新たな出会いが、当館で生まれる事を期待しています。

これからも「マロニエの木蔭」を歌い継いでいきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

令和7年度第4四半期 柳井市町並み資料館入館者数

	令和8年/1月~3月	令和8年3月現在累計
町並み資料館	3,970	349,902
	前年同期比 106.5%	
松島詩子記念館	992	120,475
	前年同期比 113.8%	

【編集後記】

★町並みかわら版も今回で106号を迎える。毎回同じような行事の紹介でマンネリ化していると思われる御仁もおられようが、同じことを四半世紀以上も継続できていることにむしろ価値があるのではないかと僕は思う。様々な理由で途絶えてしまった行事もあった。昔遊びの復活の試みや観月祭等だ。歳をとって意欲と体力がもたなくなったことが原因であるが、一方若者の協力を得て復活できた行事もある。白壁蜘蛛の巣とりだ。今年の当会の総会では事務局の世代交代が予定されている。新事務局の活躍を多いに期待し見守って行きたい。

★木阪会長の金談のアイデア面白いね~。お鐘金魚のお礼参りに来た方のエピソードや町並み資料館を訪れた観光客のこの町についての感想など話題には事欠かないと思う。

(事務局 皿田)